

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		健康セルフチェック支援				所管	健康部 国民健康保険課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	国民健康保険法				
	事業対象	台東区国民健康保険・後期高齢者医療制度の被保険者							
	事業目的	健康度チェックをきっかけとして、被保険者自らの健康への関心を高め、日常的な体調チェック、主体的な健康づくりにより、疾病の予防と早期発見、医療費の適正化を図る。							
	事業内容	・年10回健康度チェックを実施し、骨量、血管年齢、物忘れ度、血圧、握力の測定を行い、保健師による結果説明と健康づくりのアドバイスをを行う。 ・骨量、血管年齢、物忘れ度等を測定する機器を健康事業を行う団体に貸し出す。							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	健康度チェック実施回数	回	10	12	10	10		
		健康機器貸出し回数	回	-	8	7	8		
	成果指標	健康度チェック参加者数	人	240	261	202	218		
	決算額 (単位：千円)				359	303	431		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			1,260	1,889	1,573		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			359	303	431		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			1,619	2,192	2,004		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			215	208	186				
一般財源 (区負担額)			1,404	1,984	1,818				
前年度から改善した事項		参加希望者が増加により、申込み方法を改善した。							
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	その場で測定結果が得られ、手軽に健康状態を確認できることから参加希望者は増加傾向にあり、効果的に活用される事業として、定着している。						
	効率性	3	臨時職員として保健師を雇用するなど、効率的な事業運営を行っている。						
	手段の適切性	3	簡易な測定器で手軽に健康チェックができることから定着しており、総合健康診査など定期健診へつなげる役割として有効である。						
	目的達成度	3	予約であり定員制としていることから当日欠席があって参加者は目標値をやや下回っている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
事業を継続しながら、欠員の補てん方法を検討など、公平性を確保し効果的な事業運営を図っていく。						維持			